

いしかり「防火」通信

地震に伴う**通電火災**にご注意を！！



皆さん通電火災をご存知ですか？地震による停電から復旧し、通電を開始する際に発生する火災のことをいいます。今回、通電火災の発生要因と予防方法についてご説明いたします。

- ① 損傷した配線などに再通電し火災発生
- ② 落下したカーテンや洗濯物がヒーターに接触した状態で再通電し火災発生



- ③ 転倒したヒーターに可燃物（カーテン、じゅうたん）が接触した状態で再通電し火災発生



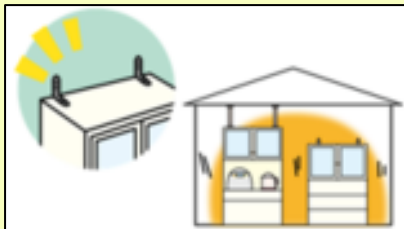
平成 23 年に発生した東日本大震災の火災のうち、原因が特定された**過半数が電気関係**に起因したものでした。

また、令和 6 年に発生した能登半島地震では屋内電気配線に溶けた痕跡があり、**電気に起因した火災**が発生した可能性が指摘されています。（具体的な発火源、着火物の特定に至らず。）

通電火災を防ぐため

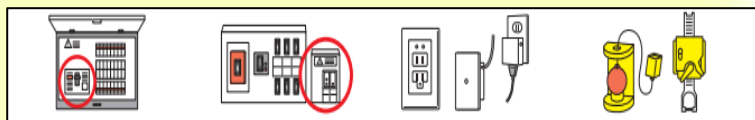
事前対策

① 家具等の転倒防止対策をする

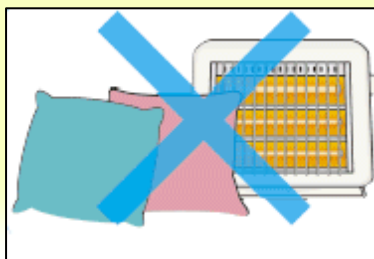


② 感震ブレーカーを設置する

分電盤タイプ（内蔵型） 分電盤タイプ（後付型） コンセントタイプ 簡易タイプ



③ ストープ等の暖房器具の周囲は整理整頓し、近くに物を置かない



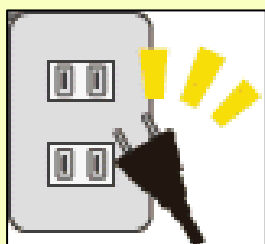
④ 安全装置の付いた製品を使用する



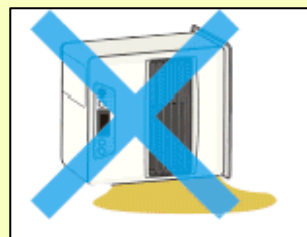
耐震自動消火装置
転倒時自動電源遮断装置

地震直後の行動

① 停電中は電化製品のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



② 石油ストーブやファンヒーターからの油漏れを確認する



③ 避難時はブレーカーを落とす

